

たちつとちぎ

2025

9

Vol.294

JA全農とちぎ 通信



特集

JAグループ栃木の総力結集!
『パワフルアグリフェア』開催!!

栃木の梨のシーズンスタート!

トピックス

ジュース用トマト機械収穫圃場見学会
令和7年度栃木県花き生産者大会
栃木トマト消費宣伝事業委員会
栃木いちご消費宣伝事業委員会
春の栃木米キャンペーン抽選会
夏休み親子米粉料理教室
JAエルサポート&JAなす南が冠試合

CONTENTS

- ・お知らせ
全国のタリーズコーヒーでじっくり梨ドリンク発売!
- ・簡単レシピ
『さんまのチーズロール焼き』
- ・子牛市場情報
- ・JAタウンからのお知らせ
- ・行事予定
- ・編集後記



©栃木県 とちまるくん

JAグループ栃木 / JA全農とちぎはSDGsが目指す社会の実現に貢献しています

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



特集

JAグループ栃木の総力結集! 『パワフル』

7月26日(土)、27日(日)、「第24回パワフルアグリフェア」が盛大に開催されました!今年も猛暑の中での開催となりましたが、生産者から一般の方まで約7000人もの方にご来場いただき、大盛況に終わりました。

2日間を通して多くの方に栃木の食や農業の魅力をPRすることができました。今後もJAグループ栃木が一丸となって栃木の農業を盛り上げていきます!

展示・情報発信 コーナー

メーカー各社が誇る新型の農業機械をはじめ、肥料・農薬などの各種生産資材が会場いっぱい展示されました。その他、中古農機情報や営農情報等の発信、米の集荷結集の呼びかけなども行いました。



ステージイベント

今年のゲストはサンシャイン池崎さんとラ・パルフェさん。会場中大盛り上がりでした!宇都宮ブルックスの選手たちによるトークショーや各連合会の取り組み紹介も行いました。



「アグリフェア」開催!!



「とちぎ和牛」の串焼き、「とちぎゆめポーク」使用焼きそば、県産小麦「ゆめかおり」のパンなどを提供しました！美味しい栃木の農畜産物を多くの方にPRすることができました！

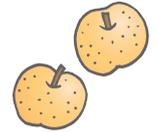
「たちつてとちぎ」
とちぎを食べよう
コーナー



特集



栃木の梨のシーズンスタート！



大田市場でとちぎ梨トップセールスを開催

園芸部は8月8日(金)、東京都中央卸売市場大田市場で、「令和7年産とちぎ梨トップセールス」を開催しました。栃木梨消費宣伝事業委員会の高野孝夫委員長や金田副本部長、とちぎフレッシュメイトらが、本格的に出荷が始まる栃木の梨を市場関係者へPRしました。



挨拶する高野委員長

トップセールス後には「幸水」の試食の配布も行い、多くの市場関係者に栃木の梨の美味しさを味わっていただきました。

今年の梨は糖度も高く、自信のある出来です。生産者一同、心を込めて栽培した栃木の梨は、消費者の皆様にも必ずご満足いただけると確信しています。安全安心で美味しい梨を数多く出荷できるよう努力していくので、ご協力をよろしくお願いいたします。



豊水梨の目揃え会を開催

園芸部は8月22日(金)、「令和7年産とちぎ豊水梨統一目揃え会」を開催しました。各JAの梨部会長、市場関係者、県の担当者ら約40人が参加しました。

本会からは他県や競合品目の状況をふまえた梨の販売情勢について情報提供を行いました。その後県からは生育診断予測の報告があり、今後の栽培管理のポイントについて「果肉硬度が低い傾向のため取り遅れのないよう注意を」などのアドバイスがありました。

協議では、出荷規格表や申し合わせ事項の確認のほか、現物を用いた目揃えを行い、収穫時のカラーチャートナンバーを「2」とすることなどを確認しました。

市場関係者からは「選果選別を徹底し、品質の良いものを出荷してほしい」「有利販売を行うために正確な産地情報を繋いでほしい」などの意見や要望が寄せられました。



ジュース用トマト機械収穫圃場見学会

営農販売企画部は7月28日(月)、ジュース用トマト機械収穫圃場見学会を開催しました。生産者やJA担当者など、約20人が参加しました。

カゴメ(株)の担当者より、ジュース用トマト栽培の年間スケジュールやほ場の選定条件、出荷規格などの栽培概要の説明があった後、優良事例生産者の高山洋さんのほ場(JAおやま管内)で機械収穫の見学を行いました。

参加者は、機械収穫の実演や収穫されたトマトを選別する様子、収穫したトマトの見た目などを確認し、理解を深めました。



機械収穫実演の様子



収穫後、コンテナに入ったトマトを確認

県内では現在、19人の生産者が合計996aでジュース用トマトを栽培しており、うち3人が機械収穫栽培を行っています。農地の大規模化が進む中、省力的かつ短時間で収穫できるのが機械収穫栽培のメリットです。今後もジュース用トマト生産者の栽培及び収量確保に向けた産地支援を強化していきます。

令和7年度栃木県花き生産者大会

園芸部と(一社)とちぎ農産物マーケティング協会は7月29日(火)、「令和7年度栃木県花き生産者大会」を開催しました。県内各産地JAの生産部会・生産団体や県、関係機関から約80人が出席し、昨年度の各種展覧会における受賞者表彰、講演会、取り組み報告などを行いました。

はじめに『令和6年度栃木県花き立毛共進会』・『令和6年度栃木県花の展覧会』における上位入賞者の表彰があり、代表して水沼一貴さん(芳賀町)、吉川泰庸さん(益子町)が表彰状を受け取りました。

その後、農研機構の久松完様より「施設花き栽培における高温対策について」と題してご講演をいただいたほか、本会生産資材部より「熱中症対策と農作業安全について」、栃木県警察本部より「農作物の盗難被害防止」などに関する情報提供がありました。



久松様による講演の様子



共進会・展覧会上位入賞者の皆さん

栃木トマト消費宣伝事業委員会

園芸部は7月30日(水)、「令和7年度第2回栃木トマト消費宣伝事業委員会」を開催しました。各産地のトマト部会長やJA担当者、県など約20人が出席し、令和6年度の活動報告や令和7年度の事業方針などを協議しました。

園芸部の高瀬部長は「猛暑の影響や見通せない販売環境が続く中、消費宣伝活動は今後ますます重要になる。“選ばれる栃木のトマト”を目指して取り組む」と挨拶しました。

令和7年度の販売では、厳寒期の消費拡大とシーズンを通じた売り場維持・拡大を目指し、継続的な活動を実施することを基本の考え方とし、積極的な店頭販促やメディアの活用、「新鮮さ」をPRする販促資材の作成・活用を行うことなどを協議しました。

同委員会の三関昌利委員長は「令和6年度では店頭での試食宣伝を中心に、消費が落ち込む厳寒期の消費拡大対策として、各種メディアを活用したレシピの提案やキャンペーンを実施した。今年度も栃木のトマトをさらにご愛顧いただき、魅力を消費者に発信できるよう、ご協力をお願いしたい」と挨拶しました。



挨拶する三関委員長

栃木いちご消費宣伝事業委員会

園芸部は8月1日(金)、「令和7年産いちご第2回栃木いちご消費宣伝事業委員会」を開催しました。各産地のいちご部会長やJA担当者、県など約30人が出席し、令和7年産いちごの消費宣伝事業の活動報告や令和8年産における事業方針などを協議しました。

令和7年産いちごの販売金額は、栃木のいちごの売り場作りやマネキンを用いての試食販売、積極的な店頭宣伝・試食宣伝等により、**312億8700万円**と過去最高額を更新しました。

園芸部の高瀬部長は「生産者、JA・県の皆様には、大変なご尽力をいただき、改めて感謝申し上げたい。気候変動や他産地の動向により販売環境が見通せない中ではあるが、今後も戦略的な販売促進活動を行い、消費宣伝を有効活用していきたい」と挨拶しました。

令和8年産の販売では、30～40代の子育てファミリー層をターゲットに、引き続き消費者の購買行動に直結する店頭宣伝・試食宣伝を重点的に取り組むこととし、加えてメディア活用を通じて情報発信を積極的に実施し、消費者へのPRを強化することなどを協議しました。

同委員会の小林秀男委員長は「店頭での積極的な試食宣伝と、とちあいかの認知度向上を中心に様々な取り組みを進め、過去最高の販売金額を達成できた。実需者・消費者の方々に対し、安全で安心な美味しい栃木のいちごを、シーズンを通して安定的に届けることができたと思っている。次年産でも栃木のいちごの消費拡大に向けて精一杯取り組んでいく」と意気込みました。



挨拶する小林委員長

春の栃木米キャンペーン抽選会

米麦部は8月4日(月)、4月から7月まで実施した『米(まい)踊れ! 春の栃木米キャンペーン』の抽選会を開きました。応募総数は947件で、S賞の「U字工事との稲刈り・温泉ツアー」をはじめ、当選者160人を決定しました。

抽選をした中村県本部長は「今後も生産者が丹精込めて作った栃木米を多くの消費者の方に選んで頂けるよう、店頭販促やSNS等を活用したプロモーションを強化することで、産地とちぎのブランド向上を図っていく」と挨拶しました。



抽選をする中村県本部長

夏休み親子米粉料理教室

米麦部が事務局を務める栃木県米粉食品普及推進協議会は8月4日(月)、栃木県学校給食会で「夏休み親子米粉料理教室」を開催しました。20組46人の家族連れが参加し、米粉のホットケーキとピザ作りに挑戦しました。

(株)波里の渡辺明男さんのご指導のもと、フライパンでホットケーキを焼いたり、ピザ生地を伸ばしたり、親子で協力して調理し、完成した料理は出来立てをみんなで試食しました。



参加者からは「米粉を使うともっちりしていて美味しい」「家でもまた作ってみたい」「米粉について知りたい機会になった」といった声があがりました。

JAエルサポート&JAなす南が冠試合



BCリーグ公式戦でPRイベントを実施

株式会社JAエルサポート・JAなす南は8月2日(土)、真岡市内で開催されたBCリーグの公式戦(栃木ゴールデンブレブスvs茨城アストロプラネッツ)で、来場者に対してガソリン券や農産物が当たる抽選会を実施し、PRを行いました。会場に駆け付けたとちぎフレッシュメイトからは、来場者へノベルティが配布されました。

贈呈式ではJAエルサポートから「栃木県産米とちぎの星」、JAなす南から「中山かぼちゃ・みなみちゃん南瓜」を両チームへ贈呈し、JAエルサポートの山口社長から栃木ゴールデンブレブスへ、JAなす南の中山組合長から茨城アストロプラネッツへ目録が手渡されました。



お知らせ



全国のタリーズコーヒーで にっこり梨ドリンク発売!



9月3日(水)より、全国のタリーズコーヒーにて、栃木県産にっこり梨を使用したフローズンドリンク「シャリっとにっこり梨スワークル®」が発売されます!

栃木県産の大玉でジューシーな「にっこり梨」と爽やかなぶどうゼリーを合わせたフローズンドリンクです。梨のシャリっとした食感を残し、まるで果実そのものを味わっているかのようなフレッシュ感をお楽しみいただけます。



「シャリっとにっこり梨スワークル®」
Tallのみ:700円(税込)

残暑を感じるこの季節にピッタリなドリンクです!
ぜひお試しください!

簡単レシピ

さんまのチーズロール焼き



(アドバイス表2024年9月 魚コースP17)

〈材料〉(2人分)

・さんま	220g
・塩・こしょう	少々
・酒	大さじ1
・にんにく(すりおろす)	小さじ1
・プロセスチーズ	50g
・大葉	4枚
・パン粉	適量
・オリーブオイル	大さじ1
・つまようじ	8本

■作り方■

- 1 さんまは3枚におろし、水気を拭き取る。
- 2 大葉は半分に切り、チーズは8等分にする。
- 3 さんまに②をのせ、端から巻いて最後はつまようじで留める。
- 4 オープントースターの天板に③をのせ、パン粉とオリーブオイルをかけ、さんまに火が通るまで焼く。

ポイント!



栃木推進課 管理栄養士
高橋雲世さん

さんまの脂肪分にはコレステロール値を下げたり、血栓を予防するEPAが豊富に含まれています。旬の時期には栄養価も美味しさも一段とアップしますので秋の食卓にはさんまをどうぞ。

ふれあい食材についてはこちらから!





子牛市場情報

令和7年度8月矢板家畜市場成績書

	性別	上場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重(日令)	単価(kg)	前回比
1日	雌	159	157	1,104,400	327,800	628,001	307(295)	2,042	44,191
	雄	—	—	—	—	—	—	—	—
	去勢	158	157	1,001,000	452,100	804,912	340(291)	2,361	97,349
	合計	317	314	1,104,400	327,800	716,457	324(293)	2,210	63,699
2日	雌	175	175	776,600	390,500	595,789	301(295)	1,974	11,186
	雄	—	—	—	—	—	—	—	—
	去勢	198	198	1,019,700	408,100	776,233	336(295)	2,304	64,743
	合計	373	373	1,019,700	390,500	691,569	320(295)	2,158	40,955
8月期合計	雌	334	332	1,104,400	327,800	611,016	304(295)	2,007	26,820
	雄	—	—	—	—	—	—	—	—
	去勢	356	355	1,019,700	408,100	788,916	338(293)	2,330	79,573
	合計	690	687	1,104,400	327,800	702,944	322(294)	2,182	51,193
概況	<p>8月の矢板家畜市場は、690頭上場にて687頭が成立し、前年同月比44頭減となりました。平均価格は対前月比雌26,820円高、去勢79,573円高となりました。</p> <p>多数の購買者にご来場いただき、雌・去勢ともに活発な取引となりました。</p> <p>購買者数 1日目：147人 2日目：138人</p>								

○次回開催/2025年9月1日～2日 出場予定:各350頭(2025年10月の開催は、1日・2日です。)

とちぎ新鮮倉庫からのお知らせ



おすすめ商品のご紹介

「豊水」

とちぎの梨第二弾「豊水」の出荷が始まります！
 甘みと酸味のバランスがとれた、シャリシャリ食感も楽しい品種です。
 9月は他にも大玉の「あきづき」も掲載予定となっておりますので、是非チェックしてみてください♪



とちぎ新鮮倉庫

9月の行事

- 1日(月) 矢板子牛市場 畜産部
- 2日(火) 矢板子牛市場 畜産部
- 9日(火) 県本部運営委員会
- 12日(金) 全農関東甲信地区役職員親睦野球大会
- 13日(土)
- 27日(土) U字工事と稲刈り・温泉ツアー 米麦部

編集後記

9月になりました。パワフルアグリフェアの記事を作りながら、今年の夏は本当に暑かったなあ…と思いだしました。やっと暑い夏が終わると思いきや、まだまだしばらく暑さが続くそうです…。

とはいえ、秋も近づいて、真夏に比べれば朝晩の暑さも少しずつ和らいているような気がします。

夏の疲れが出やすい時期になりますので、体調管理はしっかり行い、実りの秋を元気に過ごしていきたいでしょう！ (ミウ)



- CRT栃木放送「今朝も元気でいってらっしゃい」
2日(火) 7:33～7:38(5分間)
- RADIO BERRY FM栃木「Do You 農? たちつととちぎ」
3日、10日、17日、24日(水) 17:15～17:20(5分間)

こくしょうこくさん
国消国産が、

日本の食の

未来をつくれます。



乃木坂46は、国消国産を応援しています。

日本は今、食料の約6割を海外に頼っています。いざという時の食料に困らないために、私たちには何ができるのでしょうか？

それは、私たちの国で消費する食べものは、できるだけこの国で生産していくことです。その考え方を「国消国産」といいます。

こく しょう こく さん
国 消 国 産

私たちの国で

消費する食べものは、



できるだけこの国で
生産する

「国消国産」をすすめると、いいことがたくさんあります。



食料自給率
アップ

おいしくて
安全・安心



こく しょう こく さん
国 消 国 産

食べて
農業を応援

輸送による
CO₂を削減



農業を応援し、「食」の安心を未来につなげていくために。「国消国産」をいっしょに進めていきましょう！

地産地消は、あなたにも、

地域にもいいこといっぱい。

ち さん ち しょう
地 産 地 消 で、

地域の食と農業を元気に！



地域で生産したものを地域で消費するのが「地産地消」。その積み重ねが「国消国産」になります。

私たちの国で消費する食べものは、
できるだけこの国で生産する

こく しょう こく さん
国 消 国 産

食卓に
いいこと

地域に
いいこと

地域でとれたものだから新鮮で美味しい。

地域の農業と経済を元気にします。



子ども
たちに
いいこと

環境に
いいこと

地域の食・農業への愛着や理解が深まります。

輸送で出るCO₂の排出を抑え環境に優しい。

- 地域でとれたものを食べる
- JA直売所で買う
- 売り場で国産を選ぶ
- 外食の時にも国産食材を使っているお店を選ぶ

それが「国消国産」を進めるために私たちができること。「地産地消」と「国消国産」が、日本の食と農業の持続につながっていきます。



メンバーが調理を楽しむ動画等を公開中！ぜひアクセスしてください！

乃木坂46 国消国産



JAグループ

耕そう、大地と地域のmiraい。

乃木坂46



この印刷物は環境にやさしい植物油インクと再生紙を使用しています。



私たち全農グループは、生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。